

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ4億101万2千円追加し、予算総額を153億5千242万7千円とするものです。

○白石市文化体育活動センター  
アリーナLED照明更新事業  
4千827万6千円

○農産物等販売施設整備事業  
354万7千円

○学力向上プロジェクト事業  
31万8千円

○小中学校教室エアコン設置事業  
3億1千103万9千円

○平成30年度白石市国民健康保険特別会計補正予算  
(第2号)

これまでの歳入歳出予算をそれぞれ40万円追加し、予算総額を38億8千463万円とするものです。

補正の主なものは、保険給付費、保健事業費、諸支出金を増額するとともに、予備費を減額するものです。

○平成30年度白石市介護保険特別会計補正予算(第3号)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ231万8千円追加し、予算総額を38億6千804万5千円とするものです。

補正の主なものは、高額医療合算介護サービス費や地域支援事業費等を増額するものです。

○平成30年度白石市水道事業会計補正予算(第1号)

補正の主なものは、資本的支出において、包括的民間委託による事業者の営業スペース確保のため事務室の改修工事費用として368万5千円、老朽化による電話機の交換及び事業者用電話機の増設等で175万円増額し、支出総額を6億4千173万5千円とするものです。

○平成30年度白石市下水道事業会計補正予算(第2号)

補正の主なものは、資本的支出において、国道4号付加車線工事に伴う管渠及びポンプ等の移設工事費を187万円増額し、支出総額を10億1千599万5千円とするものです。

○平成30年度白石市一般会計補正予算(第5号)  
(定例会最終日提案)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ1千400万円追加し、予算総額を153億6千642万7千円とするものです。

補正の主なものは、人事院勧告に準拠した給与改定に係る人件費及びふるさと納税寄附金に対する返礼品送付等の支援業務に係る委託料を増額するものです。

### 本会議質疑より

○白石市農産物等販売施設  
条例

〔質疑〕条例の内容について、項目が少なく感じられるが、その点について伺う。

〔答弁〕本条例は、地方自治法第244条の2第1項に基づく公の施設の設置条例であるが、他の施設の設定条例と比べても同程度の内容であり、規則にも

詳しく規定を設けている。

本施設は、来年4月中のオープンを目指しているが、今後は、運営状況を見ながら指定管理者に移行していきたいと考えている。

移行するとなれば、公募を募るなどの手順を踏むこととなるが、その場合は、指定管理者に関する項目等を盛り込んだ本条例の一部改正案を議会に提案することとなる。

○白石市介護予防センター条例の一部を改正する条例

〔質疑〕本条例は、介護予防センター内の筋力トレーニングマシンを老朽化に伴い撤去することから、トレーニング室使用料の単位を改め、併せて冷暖房使用料の規定を加える内容となっているが、マシンの更新は行わないのか。

また、本施設を利用されている方々の意向を十分に聴取した上での結論となったのか。  
〔答弁〕経年により老朽化した筋力トレーニング用マシンは、修理部品の調達も難しく、更

新も検討したが、費用も高額になることから、より多くの市民が簡単に取り組みやすい「いき百歳体操」などの普及に力を入れることとし、マシンの更新は行わないという結論に至った。

また、平成27年度以降、利用者に対して毎年度ごとに新年度に向けた説明会を開催し、マシンの老朽化による使用制限の可能性についても説明を継続している。

さらに、平成30年3月に介護予防センターの利用形態を変更することについて説明を行い、同年6月には研修会を実施し、利用されている自主サークルの会員へ情報提供を2回行ったところである。

○平成30年度白石市一般会計補正予算(第4号)

〔質疑〕白石市文化体育活動センターアリーナLED照明更新事業について、今回、ホワイトキューブのメタルハライド灯をLED照明灯へ更新する理由を伺う。